

市議選投票率 37%のノビシロ。

市民が日常から議会を問う方法。

市議会ホームページに『市民だれもが、直接自分の意思を議会に要望する方法として請願・陳情があります。市議会ではこれらを審査し、議会としての結論を出します。』とあります。

審査する議員の考えや意見も傍聴やネット中継で確認できますから、選挙で訴えていた姿勢も検証できます。

選挙で受けた印象や姿勢に間違いが無かったか？
限られた選挙期間、公報等だけで選ばざるを得なかったモヤモヤの解消～☆

新たな推しの発見に繋がるかも知れません～♪

6月定例市議会には、21歳の若者たちが、増税ありえん！の声を国に届けるように請願書を提出しました！

お題は、【「防衛力強化」のための増税方針撤回を日本政府に求める意見書提出についての請願】です。

世論調査では80%の国民が反対する「防衛増税」（共同通信社5/6発表）ですが、市議会の中での割合はどうなるでしょう。

この審査を通じて37%の投票率で選ばれた議員のその後を可視化して検証してください。
こうして日常から市政を身近に捉えてもらい、37%からノビシロを広げていきましょう。

請願が審査される予定は、6/16 総務委員会、6/22 本会議。藤沢市議会で検索

防衛増税 ありえん

即時停戦への外交を
核兵器禁止条約批准へ

change.org 署名▶



「平和主義を捨てる」岸田首相。あなたの選択は YES ? NO ?



2023年5月11日19時52分配信 web版 東京新聞より
米誌タイム（電子版）は、岸田文雄首相を表紙にした5月22、29日号の一部内容を発表した。「日本の選択」と題し、「首相は数十年の平和主義を捨て、自国を真の軍事大国にすることを望む」と防衛費増大などの政策に注目している。

特集記事は、岸田政権の防衛支出増大や米国との同盟強化などの政策に触れ、「世界第3の経済大国を、それに見合う軍事的影響力を持った大国に戻すことに着手した」と指摘。タカ派的だった安倍晋三元首相が安保政策で国論を二分したのと比較し、「岸田氏の持つハト派の顔が大きな抵抗なしに改革を可能にした」と評した。

一方、日本の軍事力強化が周辺国の安全保障環境を不安定化させ、中国との摩擦を強める恐れにも言及。「岸田氏の長年の公約である核なき世界への努力と相いれないと考える人々もいる」と指摘した。



市議

原田タケル・元市議 原田トモコ事務所

藤沢市片瀬1-4-9 TEL090-5449-1160 メール pu4t-hrd@asahi-net.or.jp

◀HP <https://www.takeru.website/>

アクティブ藤沢ニュース 2023. 6月号

★裏面の署名、ネットの賛同をお願いします。

★ ボランティア & キャンパ 募集中！